事務事業ID
0915

令和 2 年度

事務事業評価シート

令和 2 年 5 月 28 日作成

事務事業名	博物館施設改修事業	☐ 実施計画登載事業	☐ 総合戦略登載事業

政策体系			事業期間	予算科目 会計	款	項	目	事業
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進	☐ 単年度のみ	01	10	05	05	07
	施策名	14 生涯学習の推進	☑ 単年度繰返（開始 平成22 年度～）					
	基本事業名	01 学習環境の充実	☐ 期間限定複数年度【計画期間】 年度 ～ 年度					
根拠法令			※全体計画欄の総投入量を記入					

所属				
部課名	教育委員会博物館			
課長名	遠藤 和枝			
係 名	博物館	電話	29-2161	
担当者	遠藤 高雄	内線	－	

事務事業区分：Ⓒ A 政策事業 B 施設整備 Ⓒ 施設管理 D 補助金等 E 一般（A～D以外）

事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

・市立博物館（昭和41年に岩手県第2号の登録博物館）の施設設備の改修、整備等を行う事業。
・主な業務は、施設設備の改修、整備、大規模な修繕。
・事業費は、施設設備の修繕料、業務委託料などに支出される。

全体計画（※期間限定複数年度のみ）

総投入量（千円）			
事業費	財源内訳	国庫支出金	
		都道府県支出金	
		地方債	
		その他	
		一般財源	
	事業費計（A）		0
人件費	正規職員従事人数		
	延べ業務時間		
	人件費計（B）		0
トータルコスト(A)＋(B)			0

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

前年度実績（前年度に行った主な活動）

考古・民俗展示室の空調機更新。会議室、管理人室に空調機設置。

今年度計画（今年度に計画している主な活動）

地階、事務室に空調機設置。燻蒸室等に棚を設置。

② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等

博物館利用者（市民、碁石海岸を訪れる観光客）
博物館施設・設備

③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）

快適な環境で気仙地域の自然と文化を学ぶことができる

④ 結果（基本事業の意図：上位の基本事業にどのように貢献するのか）

学習に必要な環境がある

⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位
ア	施設設備の改修件数（着手、継続の計）	件
イ		
ウ		

⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位
カ	博物館利用者数	人
キ	博物館延床面積	㎡
ク		

⑦ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位
サ	施設設備の改修済件数	件
シ		
ス		

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度 / 単位	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（実績）	元年度（実績）	2年度（目標）
投入量 事業費 財源内訳	国庫支出金	千 円				8,051		
	都道府県支出金	千 円						
	地方債	千 円	9,300	5,100	30,000	16,400	2,500	14,700
	その他	千 円						
	一般財源	千 円	1,025	561	7,383	3,179	236	820
	事業費計（A）	千 円	10,325	5,661	37,383	27,630	2,736	15,520
人件費	正規職員従事人数	人	4	4	2	4	3	3
	延べ業務時間	時 間	450	650	900	2,400	1,100	1,100
	人件費計（B）	千 円	1,800	2,600	3,600	9,600	4,400	4,400
トータルコスト(A)＋(B)		千 円	12,125	8,261	40,983	37,230	7,136	19,920
⑤活動指標	ア	件	4	4	10	8	2	2
	イ							
	ウ							
⑥対象指標	カ	人	9,871	9,589	7691	7,657	7,378	7,500
	キ	㎡	2,058	2,058	2,058	2,058	2,058	2,058
	ク							
⑦成果指標	サ	件	3	4	10	8	2	2
	シ							
	ス							

（大船渡市）

事務事業ID	0915	事務事業名	博物館施設改修事業

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

平成13年度に策定された合併建設計画に基づき、平成22年度から着手した。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

復興交付金により、東日本大震災映像コンテンツを制作する計画となった。
施設設備については、経年劣化により、計画以外の不具合が発生している。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？

設備の保守点検を実施した業者から各設備の更新、改修が必要であると指摘されており、必要な対応を計画している。

2 評価の部（SEE）＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☑ 結びついている ⇒【理由】 来館者の学習環境を向上させるために行う事業なので、生涯学習推進体制・施設の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☑ 妥当である ⇒【理由】 博物館は市の生涯学習施設であり、その施設改修は市で行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☑ 適切である ⇒【理由】 生涯学習施設の学習環境向上であり、対象・意図ともに適切である。
有効性評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☑ 向上余地がない ⇒【理由】 できるだけ計画的に改修を進めたいが、年度途中で新たな改修が必要になり、予算措置して対応している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☑ 影響有 ⇒【その内容】 利用者の学習環境の向上ができず、学習に必要な新たな機会が失われる。
効率性評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 博物館の運営に必要な最小限の改修等の事業を実施しているので、削減余地はない。
	⑦ 人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 必要な改修を計画的に実施するためには現在の体制が必要である。
公平性評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☑ 公平・公正である ⇒【理由】 一般の入館者からは入館料を徴収している。

3 今後の方向性（次年度計画と予算への反映）(PLAN)

(1) 改革改善の方向性

① 現状維持
2 改革改善（縮小・統合含む）
3 終了・廃止・休止

(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等

常設展示の改修を計画的に進める必要がある。

(2) 改革・改善による期待成果

左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。
（終了・廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
	低下		×	×

4 課長等意見

(1) 今後の方向性

① 現状維持
2 改革改善（縮小・統合含む）
3 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

公共施設等総合管理計画及び個別計画に基づき、改修を計画的に推進して施設機能の維持向上を図る。

（大船渡市）